

東海部品工業

鍛造・切削技術フル活用 あらゆるネジを製造



盛田延之社長

平野光輝工場長

1年半であった平野光輝・天城工場長(当時は本社勤務)たった一人に、ミクロン台の精度が要求されるマイクロネジ開発に取り組ませた。以降、平野工場長が同社のマイクロネジ開発を先頭に立って引っ張ってきた。

立ち上がりは一瞬だ。5年前のある日、盛田社長が掛かり付けの医療者の「指の関節用の医療ネジでチタン製のものがあればなあ」といって一言を耳にし、保健所に見本市でシチズンマシンに足を運び、医療ネジについて尋ねた。葉事法関連の話の二の次に、医療ネジ製造を行っている企業があることを聞きつける。その企業に頼み込み見学させて貰う。熱心に聞くも、その企業の



5年間に6台まで増えたMシリーズ

自然豊かな伊豆半島の天城の山奥で、最先端の医療用ネジが作られている。東海部品工業の天城工場である。創業以来61年、ネジ造りに特化してきた同社が、ネジで「天地人」を制覇しようとしている。

医療用ネジ製造にシチズンM12はタレット5軸の加工精度が良い

業を集約し、ハードディスクや模型、携帯電話に向けての量産を始めた。その後、医療用ネジ、医療用工具の製作にも取り掛かった。



医療用ネジの製作の

社長から「じゃあ、一度作ってみてよ」と図面を渡されたのだという。この話が、たった1日の出来事だということからその進みの早さには驚く。平野工場長によれば、「朝、病院に行った

は、夕方に帰ってきた。途中の事情がわからず、とりあえず試作を始めてみたら、その一週間後には社長が量産の注文書を買ってきてしまった。

医療用部品・工具は、「素材から削り出す」

うだと判断し、購入を決めた。「シチズンさん、もびっくりしたと思う。切削のことを判らない人間が、「M12」をフルスペックで持つて来ると言いついたわけだから」(盛田社長)。

しかも、最初のネジ注文の納期が1ヶ月の注文を頂ける事になってしまった。流石に正直に事情をお話して注文を待って頂いた。「M12」が来ると立会い

の方に、すぐに量産できるようになる所まで設定してもらった。だから、もう少し無理な送りをかけても使えるようにしてもらいたい。しかし最近、ヨーロッパでもトルクス機からシチズン機に変わってきていると聞く。医療関係の部品加工には、やっぱりシチズンが良いのだからと思う。

「ものづくりには5感を働かせることが大切。コンピュータ一辺倒では駄目。自然から学ぶべきことは沢山ある」。盛田社長は、農業事業と自然環境研究事業を立ち上げた。天城工場のそばの畑には、苺、自然薯、ブルーベリーが実る。イチゴジャムの販売も始めた。今年マンゴー作りにも挑戦する。5感を研ぎ澄ませ、日本古来のからくり的なものづくりに復活させていくのが夢だという。

「天・地・人」のネジ加工制覇へ

「天・地・人」のネジ加工制覇へ

環境にやさしい
生産財を提案します

70
YEARS

Y.M.T
YASUHIRA MACHINE TOOLING

株式会社ヤスヒラ

ISO14001認証取得

〒470-0961 岐阜県田原市108 TEL.079-294-4011 FAX.079-294-4066
【関東営業所】TEL.0276-20-4188 【徳島営業所】TEL.080-683-1336

http://www.yasuhira.com